

スマホ時代は最新HTMLでリモートI/O

編集部

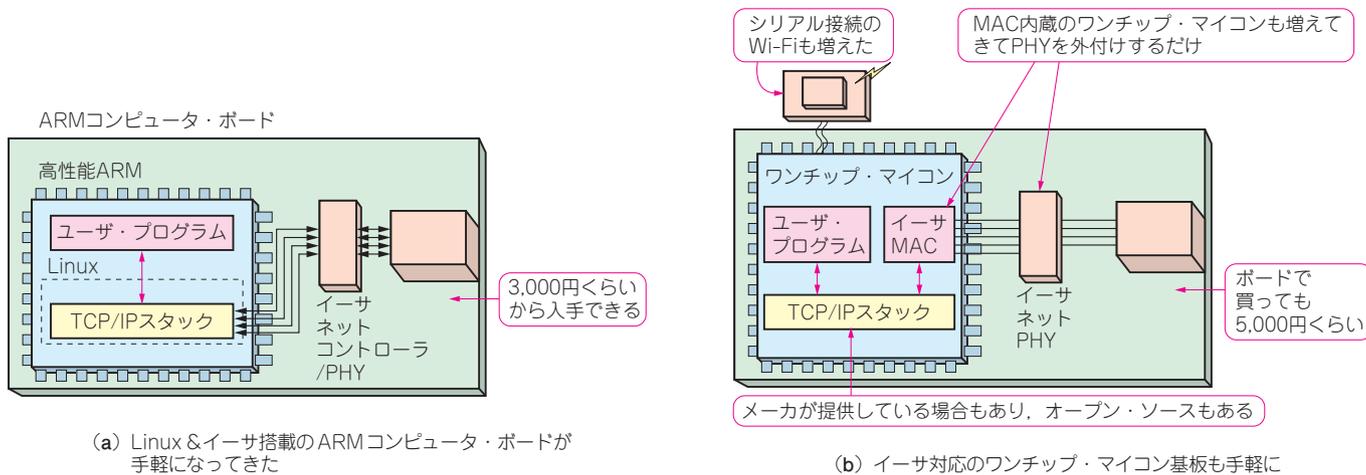


図1 My電子機器を簡単にネットワークにつなげる時代に!

● ネットワーク接続が手軽にできる時代に!

最近、図1に示すように、My電子機器をネットワーク接続して制御できる環境が整ってきました。

- Linuxが動く高性能ARM&数百MバイトRAM搭載のコンピュータ・ボードが手軽に
- イーサネットMAC (Media Access Control) 処理部内蔵の32ビット・ワンチップ・マイコンが増えてきた
- マイコン・メーカー製やオープンソースのTCP/IPプロトコル・スタックが増えてきた
- イーサネット・インターフェースを備えたマイコン基板が5000円くらいで入手できる
- シリアル接続で使えるWi-Fiモジュールが増えた

手軽にリモート計測&制御が行えるようになってきます。

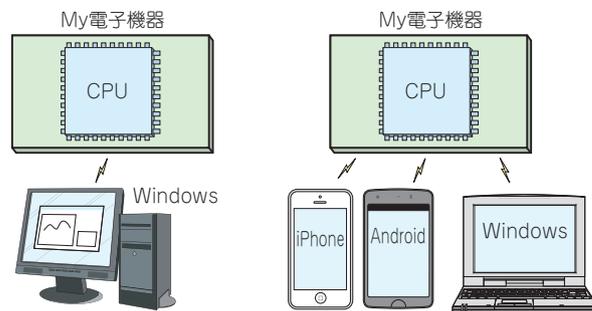
● ただし…専用アプリをそれぞれ作成するのはたいへん

ただし、My電子機器をリモート計測&制御するには、図2に示すように、端末側のアプリケーション・ソフトウェアを作らないといけません。従来であれば、据え付けWindowsパソコン用アプリを作れば済みました。最近だ

と、多くの人が持ち歩いているスマートフォン(スマホ)から操作したり表示したりできると非常に便利ですが、それぞれの専用アプリを作らないといけなのでたいへんです。

● 従来のMy電子機器のウェブ・サーバはちょっと物足りなかった…

そこで、図3に示すように、My電子機器にウェブ・サーバ機能をもたせて、パソコンなどの端末側のブラウザからネットワーク経由でデータをやりとりし、計測や制御を行



(a) 据え付けで監視するだけ (b) どこからでも表示・操作したいならそれぞれのアプリを作らないといけな…

図2 ここがネック…ネットワーク越しにリモート表示・操作を行う端末側のプログラムを用意するのがたいへん